

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業のねらいと活動の流れを明確にし、生徒が見通しをもって授業に取り組むことができた。
- ・合唱の活動において、リーダーを中心に活動する流れを作ることができた。
- ・楽曲を深く理解するため、I C T機器やパワーポイント等を用いて、生徒が興味や親しみをもちやすいような教材を提示できた。

(2) 課題

- ・生徒たちがより意欲的に、自ら進んで活動できる環境を整える。
- ・表現をより深め、表現する楽しさが味わえるような活動を追求すること。
- ・歌唱や器楽等で表現活動に消極的な生徒や苦手意識の強い生徒も、取り組みやすい雰囲気づくり。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
反復練習や、単元を越えて基礎・基本を繰り返し学習することで定着を図るとともに、スモールステップで目標を設定する。グループ練習を通して、アドバイスをしあって技能を高めていけるようにしていく。	表現方法の見本や例をたくさん示すことで、生徒たちの表現の幅を広げさせていく。 鑑賞活動を通して、音の表現を文章にする力を身に付けさせていく。	生徒たちの意見を共有しながら、パートや全員で実践していく。練習を通して失敗も経験させることで、改善点を見つけ次に生かしていけるようにする。生徒が活発に意見を交換できる場面を設定する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
反復練習をすることで技能の定着を図るとともに、スモールステップで目標を設定する。グループ練習を通して、アドバイスをしあって技能を高めていけるようにしていく。自信をもって表現できる力を身に付けさせる。	表現方法の見本や例をたくさん示すことで、生徒たちの表現の幅を広げさせていく。 鑑賞活動を通して、豊かな表現力を身に付けさせる。多くの生徒の意見を共有することで音の表現を文章にする力を身に付けさせていく。	リーダーを中心に、パートや全員で練習に取り組めるようにしていく。練習を通して失敗も経験させることで、改善点を見つけ次に生かしていけるようにする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
反復練習をすることで技能の定着を図るとともに、スモールステップで目標を設定する。 グループ練習を通して、互いに技能を高めあえるようにしていく。 誰かに頼ることなく、一人でも自信をもって表現できる力を身に付けさせる。	表現方法の見本や例をたくさん示すことで、生徒たちの表現の幅を広げさせ、実践できるようにしていく。 鑑賞活動を通して、イメージを膨らませ、読み手に伝わることを意識して文章を書けるようにしていく。	リーダーだけでなく、全員が意見を言いやすい環境を整え、多くの生徒が活躍できる場面を設定する。練習を通して失敗も経験させることで、自分たちで改善点を見つけ次に生かしていけるようにする。